

たゆまぬ活動で子ども達を未来へ

エフアジパン年次報告書 2011

ご挨拶

みなさまの温かいご支援をいただき、充実した2011年度を無事終えることができました。ここに深く感謝を申し上げますとともに、1年間の成果を記した報告書をお届けいたします。

2012年2月に、エファジャパンの理事である写真家の大石芳野さんと支援地3カ国を視察しました。私にとっては約2年ぶりとなる支援地訪問です。それぞれの国で、これまでの活動の成果を実感するとともに、今後の大いなる可能性を感じた旅となりました。



カンボジアの寺子屋教室は、ここに通う子ども達にとって学習の生命線ともいえる活動です。この子ども達には、寺子屋教室がなければほかに教育を受ける術はありません。現在の学習を支えながら、正規の学校へ子ども達を統合していく根気強い働きかけが必要です。ラオスのコミュニティ図書館は、各地の小学校の敷地内に建てられた図書館が、学校の外に広がりを持って活動しています。子ども達の身近に本を届けるだけでなく、本と共に育つ機会を持たなかった大人へも、本を通じた広い世界への入り口としての役割を果たしています。ベトナムでの障がい児への支援の現場は、支援開始当初とあまり変わっていませんでした。障がい児に対する社会の優先順位が低いことが影響していると考えられます。そうした面でも今後の支援の必要性が大きいと思わせる状況です。

エファジャパンが支援する子ども達は、年を経るごとにその数も地域も拡大しています。みなさまのご協力により、多くの子ども達を支えることができる喜びを感じると同時に、未だそれだけ支援を必要とする子ども達が存在している事実、エファジャパンが挑戦しなければならない仕事の大きさを実感しております。引き続き、みなさまのご指導ご鞭撻、これまで同様のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

特定非営利活動法人エファジャパン
理事長 イーデス ハンソン

— 目 次 —

ご挨拶	2	ベトナム	8
2011年度活動ハイライト	3	タイ	9
エファジャパンの組織	3	エファグッズ	10
カンボジア	4～5	国内事業	11～12
ラオス	6～7	会計資料	13～15

2011 年度活動ハイライト

・・・国内事業・・・

・書き損じハガキ収集での支援実施

2010 年度の書き損じハガキによる支援活動のうち、2010 年度中に実施できなかった 3 件（ベトナムへのリハビリ機器寄贈、カンボジアへの自転車追加分 50 台寄贈、ラオス少数民族学校への文房具等寄贈）を実施。2011 年度末時点でのハガキ収集は約 74 万円の実績。

・・・海外事業・・・

・ラオス図書館協会への支援開始

ラオス国内の図書館振興を担うべき組織として、ラオス図書館協会の組織強化のための支援を開始。

・カンボジア国境地帯寺子屋教室支援

度重なる紛争により公教育の整備が遅れている国境地帯で、子ども達の学ぶ権利を守る寺子屋教室を支援。

エファジャパンの組織

支援者

会 員

正会員…174 人
シニア会員…28 人
賛助会員個人…43 人
賛助会員団体…43 団体

総会
(正会員で構成)

- ・エファパートナー
- ・一般寄付者（個人）
- ・一般寄付者（団体）
- ・事業指定寄付者（個人）
(ベトナム・ラオス・ようちえん募金・荒川さん募金、他)
- ・事業指定寄付者（団体）
(ベトナム・ラオス・カンボジア・タイ、他)
- ・ボランティア
(事務局ボランティア・デザインボランティア、他)

理事会

理事長	イーデス・ハンソン
副理事長	植本 真砂子
理事	氏家 常雄
理事	大石 芳野
理事	大島 芳雄
理事	佐藤 克彦
理事	玉井 一匡
理事	徳永 秀昭
監事	千葉 信夫

事務局

事務局長	大島 芳雄
国内事業	五十嵐 香織
広報	宮原 朝香
ベトナム駐在	崎川 勝志

2012 年 3 月 31 日 時点

カンボジア

Cambodia

カンボジア概況

・支援が必要な背景

ポル・ポト政権の恐怖政治によって社会システムが崩壊したこの国は、人材の養成が急務です。しかしながら、偏った経済成長により貧富の格差が広がり、貧しさ故に教育を受けることができない子ども達が大勢存在します。

・支援の目標、目的

教育を受ける権利は、全ての子どもに保障されなければなりません。より多くの子ども達に教育の機会を提供し、同時に教育の質の向上をめざします。

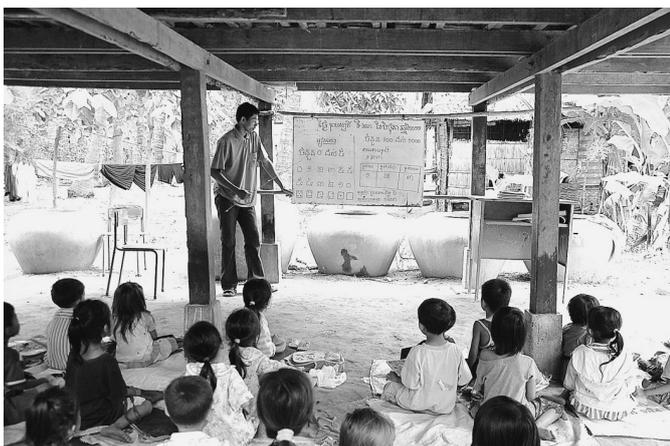
ノンフォーマル教育（寺子屋教室）運営支援

■ SCADP

カンボジアのNGO、SCADP（Street Children Assistance and Development Programme: ストリートチルドレンの支援と育成事業）は、1992年に創設者のイム・ソカリィ女史がプノンペンでひとりのストリートチルドレンと出会い、その子にノートと鉛筆をあげて読み書きを教え始めたことから、活動が始まりました。その後、1998年にカンボジア内務省から市民団体としての正式な認可を受け、現在では教育事業を中心にプノンペン市と地方7県で活動しています。

■ 寺子屋教室

SCADPと連携して、プノンペン市内のスラム3カ所と新規に隣県カンダールの村の寺子屋教室の運営を支援、6歳から15歳くらいまでの子どもが合計254人



登録されました。読み書き、計算、健全な社会生活を送るための知識などを教えています。午前と午後の2部制でどちらの授業に出席しても良く、親の商売の手伝いなど家計を助ける必要がある子どもも、可能な限り継続して通学できるよう配慮されています。子ども達には通学バッグに入った教材一式が支給され、費用負担は一切ありません。

また教育の質を向上させるため、寺子屋教室の教員2名をプノンペンにある国立幼稚園教員養成学校（カンボジア子どもの家）に聴講生として入学させています。

■ 国境地帯の子どもの教育支援

世界遺産である寺院遺跡周辺を巡りタイ軍とカンボジア軍が対峙しているカンボジア北部プレアビヒア県には、長い紛争の歴史があります。ベトナム戦争時に米軍の爆撃を受けた後、クメール・ルージュによる内戦を経て、国連の監視下での総選挙が1993年に実施された後も5年間に渡りクメール・ルージュの支配下にありました。2008年に寺院遺跡がカンボジアの世界遺産としてユネスコに登録されたことをきっかけに、その地域の領有権をめぐりタイとの国境紛争が再燃し、武力衝突に発展しました。

内戦から現在の国境紛争に至る間に、多くの兵士が動員され、家族と一緒に生活したり、除隊後に定住しており、兵士の子どもの達も移り住んでいます。ほとんどの居住地が森の中にあるので、子ども達は公立の学校に通うことができないままです。

SCADPは、この国境地帯13カ所で寺子屋教室を運営しています。登録児童数は829名。生徒の学用品や教室の備品や教材もほとんど無い状態だったため、登録児童全員に学用品を、全教室に基本的な備品や教材を配布し、教育環境を整備しました。



カンボジア子どもの家奨学金事業

■子どもの家概況

1997年に、自治労の支援によって、首都プノンペンに国立幼稚園教員養成学校および付属幼稚園として設立されました。養成学校は2年制で、1年生が200人、2年生が200人、合計400人が学んでいます。幼稚園には100人余りの幼児が通園しています。古くなった園舎を取り壊し、日本大使館の援助で2階建ての園舎を建築中ですが、エファからも園児の机とイスを支援しました。カンボジア唯一の幼稚園教員養成施設として、国全体の就学前教育と保育に大きく貢献しています。

■奨学金事業

園児30名と訓練生25名に月25ドルの奨学金を10カ月間支給しました。2011年秋の新学期からは、園児30名と訓練生25名に月25ドルの奨学金を支給しています。

就学前教育は、初等教育への就学率の向上、退学率の減少、卒業率の向上に効果があります。

地方出身の貧しい訓練生にとって、大都市プノンペンで学ぶことは、寮生活とはいえ、容易ではありません。奨学金は、生活費の補助になり、経済的理由から中途退学することを防ぎます。

■自転車寄贈

教育実習時の交通費が訓練生の大きな負担になっているため、書き損じハガキ収集による寄付で自転車50台を寄贈しました。昨年度寄贈した50台と合わせて100台が現在訓練生の足として役立っています。

■保育士による技術指導ボランティア

日本の公立保育園で保育士として働いていた荒川智子氏は、退職後、国立幼稚園教員養成学校で保育指導のボランティアをしています。校長の信頼も厚く、訓練生からも慕われている荒川氏の活動に助成金を支給しています。



その他の活動

■SCADP 児童保護施設

SCADPの本部には、様々な理由で保護者と生活できない子ども40～50人が保護され生活しています。日常的な健康管理を含む生活改善への協力を始めました。

■SCADP 就学前教育

SCADPの本部では、近所の就学前児童を集めて教育の機会を提供しています。就学前教育の経験がないボランティアが、知っていることを教えるだけの状態から始まりましたが、知育玩具の提供や教員研修を通じて教育の質を向上させています。



カンボジア事業の今後

子どもの家奨学金事業は、園児から訓練生へ重点を移していきます。また就学前教育の質を向上させるため、元保育士の荒川智子氏の活動を応援します。SCADP事務所の就学前教育を地域の幼児教育の場に発展させます。

スラムにおけるノンフォーマル教育に加え、「中央から地方へ」の事業方針に基づき、特に国境地帯への教育支援を拡大し、同時にSCADPの組織強化に協力します。

ラオス Laos

ラオス概況

・支援が必要な背景

ラオスでは図書館・図書室及び図書の数や種類が少なく、ラオス図書館界全体の発展のために中心的な役割を果たすべきラオス図書館協会も機能していません。また、農村や遠隔地に住む子ども達は、学校の授業に含まれていない伝統文化の継承や情操教育を受ける機会がありません。また、不発弾が多い地域では被害防止のための啓発が必要とされています。

・支援の目標、目的

子ども達が数多くの本にアクセスできるようにします。また、ラオス図書館協会の活動を支援し、国内全体の図書館運営を支える全国組織としての育成をめざします。さらに、県中心部だけでなく、農村や遠隔地に住む子ども達が不発弾の危険性を理解し、伝統文化教育や情操教育が受けられるよう子ども文化センターを支援します。

図書館事業

■図書館概況

ラオスでは、多くの学校や地域に図書館がありません。現在、全国に約1,100の図書館・図書室がありますが、その内の90%は学校の教室の一角に設置された学校図書室です。これらの図書館・図書室でも図書の数や種類は十分でなく、設置された後の運営・管理にも多くの課題を抱えています。

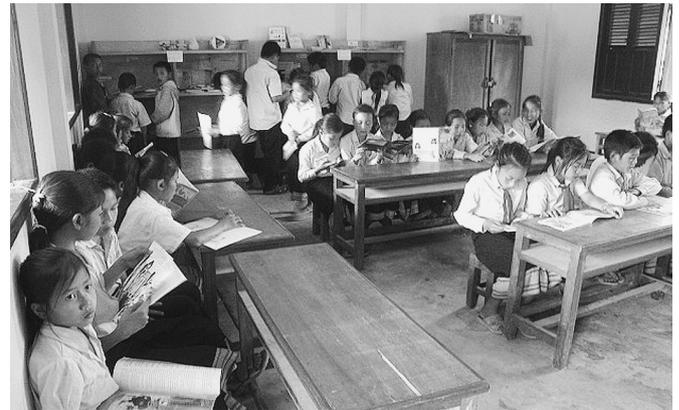
■ヴィエンチャン市立図書館・多目的ホール支援

自治労中央本部と3県本部(北海道・東京都・愛知県)のご支援により設立されたヴィエンチャン市立図書館は、2011年12月に開館5周年を迎えました。開館から5年もの間、ヴィエンチャン市立図書館は、設備を整えたり蔵書数を増やしたりし、ラオスで最も近代的で快適な読書空間を提供する図書館として、ヴィエンチャン都民に広く愛用されています。図書館の開館時間は、平日月曜日～金曜日が9時～18時、土曜日が9時～16時となっています。2011年の利用者数はのべ69,595人、貸出人数はのべ4,152人、貸出冊数はのべ8,080冊でした。またこの間、自治労東海地区連絡協議会から備品の購入や職員の超過勤務代(平日17時～18時、土曜日終日)を含む運営費のご支援を、株式会社スペース・ゼロ様からは図書購入のご支援をいただきました。



■コミュニティ図書館支援

2011年度は新たにコミュニティ図書館・図書室の設置は行なわず、日本の個人のグループや自治労各県本部のご支援により、これまで設置したコミュニティ図書館・図書室への新たな図書の寄贈やモニタリングを行い、運営の強化に努めました。



■ラオス図書館協会支援

ラオス図書館協会は、ラオスの図書館運営に関する支援や助言、調査をする全国組織として2007年に設立され、ラオスの図書館界で随一の専門性を有しているメンバーから成っています。しかし、政府からの支援はほとんどなく、財政不足などの理由から活動は停滞し、実質的に図書館協会としての機能を果たしていませんでした。

そこで、エファジャパンはラオス図書館協会の組織能力強化をめざした支援を開始し、2011年度は、事務所内で使用するパソコンやプリンターなどの備品の購入や、ルアンパバン県での図書関係のニーズ調査及び統計調査の支援を行ないました。今後は、図書館運営ガイドラインに関する研修やラオス南部での図書館・図書室の現状調査、刊行誌の出版などを、継続的に支援していく予定です。

地方子ども文化センター支援事業

■子ども文化センター (CCC) 概況

自治労の支援により 1996 年にラオスで初めて設置された子ども文化センター (CCC) は、日本の児童館のような施設です。教育内容が限られているラオスの基礎教育を補完する役目を果たしています。その後、ラオス政府も CCC の重要性を認識するに至り、現在では、政府主導の下ラオスの全 17 県に CCC が設置されています。特に、最近では県都だけでなく郡 (県より一つ下の行政区) レベルでも CCC が設置されるようになってきました。しかし、設置された後は、財政不足のため満足な活動ができていない CCC も少なくありません。

■カムワン県・シェンクワン県 CCC

カムワン県とシェンクワン県には、ベトナム独立戦争時、アメリカ軍により投下された多くの爆弾が不発弾として残り、今でもその被害が多発していることから、自治労大分県本部からのご支援により子ども達を対象とした不発弾啓発活動を実施しています。政府の不発弾啓発機関や地元 NGO の研修を受けた、カムワン CCC とシェンクワン CCC の



ジュニアリーダー (高校生ボランティア) が、不発弾の危険性が高い村に行き、不発弾を題材とした歌や寸劇、ゲームやポスター、

Q&A 等を行ないながら、子ども達に不発弾の危険性や不発弾を見つけた時の対処法について啓発しています。2011 年度はカムワン県の 8 つの村とシェンクワン県の 7 つの村で、それぞれ不発弾啓発活動を行ないました。

■ルアンパバン県・郡 CCC

自治労佐賀県本部のご支援により実施している CCC 支援では、ルアンパバン県にある 11 の郡 CCC の運営能力改善のため



の支援を行なっています。2011 年度は、ルアンパバン県 CCC に 11 の郡 CCC の職員とジュニアリーダーを集めて活動スキルに関する研修を行なった他、各郡 CCC に伝統楽器や文房具などの活動用具の寄贈を行ないました。

■セコン県 CCC

セコン県 CCC は、日本政府外務省の NGO 連携無償資金協力を得て 2009 年 11 月～2010 年 11 月の間、エファジャパンが設立・運営を支援しました。その後 1 年が経過した 2011 年 12 月に、現状視察とフォローアップを兼ねてセコン県 CCC を訪問し、本や文房具、スポーツ用具などの活動用具を寄贈しました。

その他の活動

■カムワン県洪水被害緊急支援

2011 年 8 月にカムワン県を襲った大雨と洪水により、カムワン県では多くの村で田畑や家畜が流され、家庭では収入が途絶えてしまいました。そこで緊急支援として、6 つの村の子ども達計 812 人に今後 1 年間は文房具を買わなくても勉強を続けていけるだけのノート、ペン、鉛筆、消しゴムを支給しました。

■少数民族学校支援 (カムワン県・タケク)

みなさまのご協力により収集した書き損じハガキを元に、家庭の貧しさから少数民族学校に引き取られ、そこで寮生活をしながら勉強している子ども達 407 人にノートやペン、鉛筆を寄贈しました。その他、サッカーボールやバレーボールなどのスポーツ用具を少数民族学校に寄贈しました。

ラオス事業の今後

図書館事業では、ラオス政府によるヴィエンチャン市立図書館のさらなる財政的な自立をめざします。また、ラオスの図書館・図書室の総合的な発展のためにも、ラオス図書館協会の組織機能と活動基盤を強化する必要があります。CCC 事業では、郡レベルの CCC の運営強化を図る一方、支援事業が終了した各県 CCC をフォローアップし、活動の質が落ちないように努めます。

ベトナム Viet Nam

ベトナム概況

・支援が必要な背景

経済発展を急いできたハイフォン市では、制度上のセーフティネットが整備されないまま、教育、医療、福祉にかかる費用が急激に増え、経済発展から取り残されてきた人々、特に困難な状況にある子ども達の暮らしを直撃しています。

・支援の目標、目的

ハイフォン市児童保護基金と協力しながら、困難な状況にある子ども達や障がいを持つ子ども達を支援し、保護される権利と教育を受ける権利、発達する権利の実現をめざします。

ベトナム子どもの家支援事業

ベトナム（ニエムギア）子どもの家は、1995年に自治労のご支援により、ベトナム北部の港町ハイフォン市に設置され、2004年からはエファジャパンが支援を引き継いでいます。ここでは、様々な事情で困難な状況にある子ども達が保護され、共同で生活しています。また、戸籍がない又は障がいがあるなどの理由から、正規の公立学校に入学が認められない子ども達のために識字教室

や課外活動も行なわれています。2011年度は3人の子どもを保護し、常時25人くらいの子ども達が、ベトナム子どもの家の識字教室や課外活動に参加しました。



アジア子どもの家奨学金基金

1999年に自治労栃木県本部が500万円をハイフォン市に委託し、その利子を運用して奨学金事業を開始しました。奨学金基金はハイフォン市児童保護基金が管理し、困難な状況にありながら、良い学業成果を挙げてい

る子ども達に奨学金を支給しています。2011年度は5月と9月に開かれた式典で、計100名の子ども達に1人当たり60万ドン（約2,400円）の奨学金と10万ドン（約400円）分のギフトを支給しました。

ハイフォン市障がい児教室活動支援

5つの障がい児教室の現状を視察し、ハイフォン市児童保護基金と具体的な支援計画を話し合いました。来年度からは、障がい児教室の保護者を対象としたリハビリ研修や、活動用具の寄贈を行う予定です。また、障がい

児教室の運営に関して保護者と話し合いの場を持ち、「1. 活動回数を増やすこと」、「2. 活動の種類を増やすこと」、「3. 地域社会との繋がりを持つこと」を目標とした障がい児教室活動支援を行なっていきます。

その他の活動

書き損じハガキ収集による寄付により、ハイフォン市のキエンアン地区リハビリテーションセンターに、頸椎牽引器や自転車エルゴメーター、ハンドマッサージ器などのリハビリ器具を寄贈しました。1984年に外国の援助機関の支援により設立されたこのセンターでは、常時50人以上がリハビリに励んでいます。最近では慢性的

なりハビリ機器の老朽化に悩まされていました。今回の寄贈で、リハビリの成果や利用者・職員の意欲が高まることを期待されます。



ベトナム事業の今後

ベトナム子どもの家は、来年度中に児童保護ソーシャル・ワークセンターに改編される予定です。ハイフォン市政府により詳細な改編計画が決定され次第、支援内容を検討します。アジア子どもの家奨学金では、物価の上昇に合わせて、一人当たりの奨学金の支給額を見直す必要があります。ハイフォン市障がい児教室活動支援では、活動を活性化させるために、保護者や地域社会と協力関係を構築していかなければなりません。

タイ Thailand

パラミ・ラーニングセンター支援

■ビルマ（ミャンマー）概況

2011年3月に文民政権が発足し、軍事政権から民政移管が実現しました。自宅軟禁を解除されたアウン・サン・スー・チー氏が率いる国民民主連盟は、11月に政党として再登録されました。政治囚も釈放され、少数民族武装勢力との停戦も行なわれ、民主化が進んでいます。

■パラミラーニングセンター支援

タイ国内には200万人近いビルマ人移住労働者がいると言われていています。移住労働者が呼び寄せる家族に加え、タイ国内で結婚した移住労働者同士の子どもの増え続け、教育施設は常に不足しています。

パラミラーニングセンターは、ビルマ労働組合連盟（FTUB）が1999年にタイのターク県メーソットに設立した教育施設です。タイ政府は当初、ビルマ人のための学校設立を許可していませんでしたが、ビルマ人の子どもの教育が社会問題化するに至り態度を改めました。設立当初の生徒数は50人余りでしたが、現在では500人近い子ども達が学んでいます。保育園（3歳～）、幼稚園（5歳～）、学校（1年生～7年生）に分かれ、子ども達が犯罪に巻き込まれることや、児童労働に従事することから守り、受入国であるタイの文化を理解するこ

とを目的にしています。一部の子ども達は両親が遠方で働いているため、数人の教師と共にセンターの寮で生活しています。

母国ビルマの状況が好転しているとは言えまだまだ先行きは不透明であることに加え、帰国しても職に就ける保障も無いことから、移住してきた親達は当面タイに留まる可能性が高く、子ども達もこのままタイで成長することを前提に考えざるを得ません。親達は子どもの将来のためにも良い教育を受けさせたいと考えているようで、このセンターでの学習を大変重要視しています。

前年度に始まった1年次の支援では、センターの外の建物を間借りしていた保育園・幼稚園・女子寮が移設を余儀なくされたため、これらの施設と共に幼児用トイレ、簡易校舎、教員宿舎をセンターの敷地内に建設しました。

2年次の支援は、保健衛生と就学前教育に関する教員研修で始まりました。生徒数の増加に対応するため教室や職員室の建設、コンピュータや教材の補充、保護者への職業訓練、交通安全冊子の発行が計画されています。

センターへの支援は5年間の計画です。エファは現場において、支援者である自治労大阪府本部とFTUBとの調整を担います。



新築した校舎兼女子寮



移転により遊ぶスペースも広く



三角巾の使い方講習



2次支援で増設した教室



授業の様子

エファグッズ

◆エファグッズ◆

エファグッズ販売は、ベトナム子どもの家での職業訓練の成果物を活用し、子ども達と子どもの家を資金的にも援助できる仕組みとして始まりました。その後、支援者のみなさまが会費や寄付以外でエファジャパンの活動を支援する方法のひとつとして定着し、ベトナムだけでなくラオスの市民団体による製品も販売するようになりました。イベント等でのエファジャパンと支援者のみなさまの接点にもなっています。



◆グッズ・団体紹介◆

・刺繍雑貨（ベトナム）

ベトナム（ニエムギア）子どもの家の職業訓練で製作しています。子どもの家に保護されている児童だけでなく、近隣に住む貧困層の子ども達



も参加し、お小遣い程度の収入と自分の仕事が認められる自信を得る場となっています。収益はその他、材料費・輸送費、子どもの家運営基金への組み入れに使われています。

・キーホルダー（ラオス）

フランスのNGOであるフレンズ・インターナショナルが実施する職業訓練により製作されたものです。カンボジア、タイ、ラオスなど世界8カ国で活動するフレ

ンズ・インターナショナルは、都市部で取り残された子ども達や若者を支援しています。貧困家庭や疎外されている地域の親に職業訓練を実施し収益の確保と自立を支援することで、子ども達の教育機会と健康を守ることをめざしています。



・オーガニック石けん（ラオス）

ラオスやカンボジアなどで女性と子どもの性的搾取や人身売買問題に取り組むフランスのNGO、アフエシップの職業訓練にて製作されています。アフエシップ・ラオスの保護施設でリハビリを受けた被害女性達による手作りの製品を購入することで、彼女達の安定した収入と持続的な力づけが可能となります。

現在販売中のエファグッズ商品は、エファジャパンホームページにてご覧いただけます。一部の商品はホームページに掲載しておりませんので、メールやお電話にてエファジャパン事務局までご確認ください。オーガニック石けんは在庫がなくなり次第販売を終了します。今後はカンボジアからの製品も追加することを検討しています。

【収支】

収入	「ベトナム子どもの家」グッズ	183,750	支出	仕入れ、輸送経費、雑費等	3,532,062
	その他グッズ	52,000			
	自治労布袋	3,712,050			
収入合計		3,947,800	支出合計		3,532,062
	利益	415,738			

国内事業

学習会

子どもへの暴力防止に関する学習会

(2/18 神奈川、2/25 新潟、3/15 西東京)

自治労組合員の方々を対象に、「子どもに対する暴力防止について」をテーマとする学習会を3箇所で開催しました。この学習会は、日本国内の子どもの権利を守る啓発活動の一環として、特定非営利活動法人子どもすこやかサポートネットと協働で行い、同団体代表理事の田沢茂之さんに講師を務めていただきました。

自治労神奈川県本部社会福祉協議会総会の後に行われた学習会では、「子どもに対する暴力防止について」のテーマで25名が参加。自治労新潟県本部社会福祉協議会保育部会の学習会では、「子どもの権利と子どもを取り巻く環境について」のテーマで43名が参加。西東京市職員労働組合では、「子どもに対する暴力防止のためのアプローチ」のテーマで15名が参加されました。

学習会では、子どもへの暴力防止をめぐる様々な側面の中から、参加される方々の職種などに適した内容をその都度取り上げています。今回の学習会では、福祉施設や社会福祉協議会の職員、保育士、学童保育指導員、公民館の専門員など多様な職種の方にご参加いただき、それぞれの立場から様々なご意見・ご感想をいただきました。

エファジャパンでは今後も学習会の開催等を通じて、子どもの権利を守るための啓発活動に取り組んでいきます。

＜参加者の感想＞

・「子どもの発達、環境、その他の背景について詳しく解説してくださり、ためになった。」



・「法的に暴力を禁止することで変化が見られた海外の事例を知ることができ、将来に対する見通しが持てて良かった。」

・「体罰が及ぼす好ましくない行動（症例）を知ることができた。愛着の問題を抱える親子に、また関わっていかうとする力になった。」

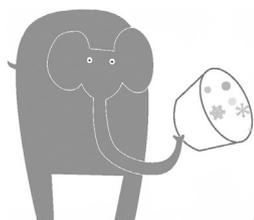
・「暴力を振るってしまう親、暴力を受けている子どもへの具体的な支援策についてもう少し話が聞きたかった。」

その他イベント・集会

- ・ NTT 労働組合児童労働撲滅キャンペーンイベント (5/21・神奈川)
- ・ 自治労中央委員会 (5/26～27・奈良)
- ・ 第1回自治労国際活動全国交流集会 (6/15・東京)
- ・ 自治労第83回定期大会 (8/24～26・長野)
- ・ 自治労大分県本部第97回定期大会 (9/15～16・大分) 他

書き損じハガキ収集

2011年度は、たくさんのご協力によりハガキ約14,800枚と未使用切手のご寄付をいただき、切手交換後の合計736,835円分となりました。また、テレホンカード、QUOカード、図書カード等のプリペイドカードも200枚以上ご寄付いただきました。ありがとうございます。



ございました。この約70万円の資金は、2012年度中にベトナム、ラオス、カンボジアそれぞれの支援に使わせていただきます。ハガキでの支援はエファジャパンHPなどでご報告して参りますので、

ぜひご覧ください。

2012年初頭には、デザインボランティアさんに新しくポスターを制作いただき、事務局ボランティアのご協力により約2,800枚を自治労単位組合のみなさまにお送りしました。多くの単位組合からポスターに記載のハガキ回収箱についてのお問い合わせ・ご請求もあり、ハガキ収集活動への取り組みも広がってきています。また、HPなどでエファジャパンのハガキ収集活動をご覧になった多くの個人の方からもハガキや未使用切手をご寄付いただきました。

2012年度も引き続きのご協力をお願いいたします。

国内事業

広報・その他

■広報誌『えんぱわ』（季刊：第21号～第24号）

主にエファジャパン会員、関係者、自治労各県本部等へ配布するほか、全国の自治体国際化協会やボランティアセンターへ送付しています。

【特集記事】

第21号「カンボジア SCADP 代表ジュネーブへ」

第22号「タイに暮らすビルマの子ども達」

第23号「子ども達の学びの意欲を未来へつなぐ」
(ベトナム)

第24号「学ぶ権利を保障するラオスの少数民族学校」



■エファ通信（メールマガジン）

原則月1回発行。エファジャパン会員ご希望の方に配信。バックナンバーはエファジャパンHPでも閲覧できます。

■Web ページ

エファジャパンホームページの他、Yahoo! ボランティア

ア、イーココロ、mixiなどでエファジャパンのページを掲載しています。Yahoo! ボランティア、イーココロでは、募金（Yahoo!：壁紙募金、イーココロ：ショッピング募金等）も実施しています。

■自治労通信での記事・広告掲載

自治労中央本部のご協力により、「自治労通信」にエファジャパンからの広告を掲載していただきました。広告デザインはエファジャパンのデザインボランティアの方に制作していただいています。

■自治労プレスリリース

エファジャパンの最近の活動から1つを選び、プレスリリースとして自治労各都道府県本部へ配信しています。リリースの内容や添付の写真は、各県本部や単位組合の機関紙やWebサイトへの転載自由となっており、書き損じハガキでの支援活動などを掲載していただきました。



■企業等との連携

ハイム化粧品（スマイルご縁（5円）活動）：ハイム化粧品の「白い石けん」「はみがきホワイト」1個販売毎に5円がエファジャパンに寄付されます。

ボランティア・インターン

■エファボラ

月1回エファジャパン事務局で実施しているボランティアデーです。エファグッズの在庫確認や、大量に発送する荷物の仕分けなどをお手伝いいただいています。出入り自由で気軽に参加できるボランティア活動です。



■デザインボランティア

2011年度もデザインボランティアの方に書き損じハ

ガキポスター・チラシ、「自治労通信」裏面広告などを制作していただきました。

■インターン

2011年4月から半年間、インターン1名を採用しました。メールマガジンの発行、支援国からの文書等の英訳・和訳などの仕事に携わりました。



収支計算書

2011年4月1日から2012年3月31日まで

特定非営利活動法人 エファジャパン

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異
I 経常収入の部			
1 会費収入	5,580,000	4,614,000	966,000
正会員 (個人及び団体)	2,400,000	1,920,000	480,000
シニア会員 (個人)	180,000	144,000	36,000
賛助会員 (個人)	500,000	400,000	100,000
賛助会員 (団体)	2,500,000	2,150,000	350,000
2 収益事業費	4,390,000	4,060,600	329,400
グッズ	4,190,000	3,947,800	242,200
エファグッズ	400,000	183,750	216,250
その他グッズ	100,000	52,000	48,000
ベトナム布袋	3,690,000	3,712,050	△ 22,050
その他	200,000	112,800	87,200
3 寄付 (エファパートナー)	2,600,000	1,748,000	852,000
パートナー (個人)	600,000	408,000	192,000
パートナー (団体)	2,000,000	1,340,000	660,000
4 補助金・助成金収入	31,500,000	33,980,000	△ 2,480,000
自治労中央本部	15,000,000	17,500,000	△ 2,500,000
自治労共済	15,000,000	15,000,000	0
その他	1,500,000	1,480,000	20,000
5 寄付金収入	7,000,000	8,306,292	△ 1,306,292
目的指定寄付	5,000,000	7,088,513	△ 2,088,513
その他 (一般寄付・募金)	2,000,000	1,217,779	782,221
6 雑収入	0	3,995	△ 3,995
7 為替差益	0	779	△ 779
経常収入合計	51,070,000	52,713,666	△ 1,643,666
II 経常支出の部			
1 海外事業費	26,740,000	31,791,260	△ 5,051,260
①ベトナム事業費	8,460,000	8,004,208	455,792
仕入れ	2,000,000	3,439,134	△ 1,439,134
グッズ諸経費	60,000	62,961	△ 2,961
活動費	6,400,000	4,502,113	1,897,887
②カンボジア事業費	8,770,000	10,790,237	△ 2,020,237
活動費	8,770,000	10,790,237	△ 2,020,237
③ラオス事業費	7,810,000	9,922,892	△ 2,112,892
仕入れ	20,000	29,967	△ 9,967
グッズ諸経費	10,000	0	10,000
活動費	7,780,000	9,892,925	△ 2,112,925
④タイ事業費	1,700,000	3,063,923	△ 1,363,923
活動費	1,700,000	3,063,923	△ 1,363,923
⑤人道支援	0	10,000	△ 10,000
2 国内事業費	6,860,000	5,771,187	1,088,813
①国内事業推進費	3,660,000	2,958,915	701,085
収益事業費	100,000	138,265	△ 38,265
活動費	3,560,000	2,820,650	739,350
②広報事業費	3,200,000	2,812,272	387,728
3 管理費	17,395,000	16,011,377	1,383,623
家賃	3,240,000	3,233,496	6,504
事務人件費	6,910,000	5,631,282	1,278,718
光熱費	120,000	143,309	△ 23,309
通信費	300,000	279,580	20,420
消耗品費	300,000	159,383	140,617
旅費交通費	480,000	468,140	11,860
理事会運営費	260,000	213,970	46,030
法定福利費	2,500,000	2,610,340	△ 110,340
印刷費	140,000	92,673	47,327
機材リース代	460,000	458,961	1,039
福利厚生費	30,000	22,985	7,015
支払手数料	90,000	331,513	△ 241,513
租税公課	10,000	2,700	7,300
研修費	60,000	60,000	0
新聞図書費	20,000	10,245	9,755
業務委託費	1,850,000	1,843,050	6,950
退職給付費用	625,000	446,200	178,800
会議費	0	3,550	△ 3,550
4 為替差損	0	24,039	△ 24,039
5 法人税等	70,000	70,000	0
経常支出合計	51,065,000	53,667,863	△ 2,602,863
経常収支差額	5,000	△ 954,197	959,197
III その他資金収入			
その他資金収入合計	0	0	0
IV その他資金支出			
その他資金支出合計	0	0	0
当期収支差額	5,000	△ 954,197	959,197
前期繰越収支差額	30,571,851	30,571,851	0

財産目録

2012年3月31日現在

特定非営利活動法人 エファジャパン

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	29,068,730	
現金 現金手許有高	502,853	
普通預金	8,180,613	
中央労働金庫市谷支店	2,889,619	
東京三菱銀行市ヶ谷支店	1,956,183	
ラオス外貨預金	153,528	
東京三菱	3,181,283	
郵便振替口座	20,385,264	
未収会費	266,000	
棚卸資産	203,080	
前払金	777,900	
立替金	190,765	
未収金	287,540	
前払費用	269,458	
仮払金	550,372	
流動資産合計		31,613,845
2 固定資産		
その他の固定資産		
敷金	1,440,000	
保証金	2,600,000	
その他の固定資産合計	4,040,000	
固定資産合計		4,040,000
資産合計		35,653,845
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	607,588	
前受金	78,000	
預り金	360,403	
源泉税	70,700	
健康保険	68,176	
厚生年金	109,139	
雇用保険	79,888	
住民税	32,500	
未払法人税等	70,000	
流動負債合計		1,115,991
2 固定負債		
退職給付金引当金	2,320,200	
固定負債合計		2,320,200
負債合計		3,436,191
正味財産		32,217,654

貸借対照表

2012年3月31日現在

特定非営利活動法人 エファジャパン

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	29,068,730	
現金	127,126	
小口現金	375,727	
普通預金	8,180,613	
郵便振替口座	20,385,264	
未収会費	266,000	
棚卸資産	203,080	
前払金	777,900	
立替金	190,765	
未収金	287,540	
前払費用	269,458	
仮払金	550,372	
流動資産合計		31,613,845
2 固定資産		
その他の固定資産		
敷金	1,440,000	
保証金	2,600,000	
その他の固定資産合計	4,040,000	
固定資産合計		4,040,000
資産合計		35,653,845
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	607,588	
前受金	78,000	
預り金	360,403	
未払法人税等	70,000	
流動負債合計		1,115,991
2 固定負債		
退職給付引当金	2,320,200	
固定負債合計		2,320,200
負債合計		3,436,191
III 正味財産の部		
正味財産		32,217,654
(うち当期正味財産減少額)		(954,197)
負債及び正味財産合計		35,653,845

特定非営利活動法人エファジャパン 2011年度年次報告書

発行 特定非営利活動法人エファジャパン 2012年7月25日

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-2-2 九段宝生ビル3階

電話 03-3263-0337 FAX 03-3263-0338 E-mail info@efa-japan.org

ホームページ <http://www.efa-japan.org>



すべての人々に、^{ちから}力を。